

I 学校運営の概要

1 学校教育目標

自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる。

- ◎目指す生徒像：自ら学ぶ生徒
思いやりの心をもって活動する生徒
粘り強く取り組む生徒
- ◎目指す学校像：礼儀正しくさわやかな挨拶が行き交う学校
自主協同の精神にあふれ、活力に満ちた学校
一人一人が大切にされている学校

2 本年度の学校運営方針及び重点目標

- (1) 学校運営方針 学ぶこと・学び合うことの楽しさを実感できる教育活動を追求する。
- (2) 重点目標 「学ぶ意欲をもち、思いや考えを表現する能力や態度の育成」

3 重点目標に向けての追求

- (1) ユニバーサルデザイン(明確化・柔軟化・共有化)の視点による授業づくりを追求する。
 - ア 学習のねらいを絞り込み、授業のゴール(到達点)や活動の手順(通過点)等を事前に提示することで、全ての生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。
 - イ 生徒の実態に応じて課題の難易度を調整したり、個々の学び方に配慮した選択肢を設定したりするなど、生徒中心の授業となるようにする。
 - ウ 話す、書く、操作する、協力し合うなどの身体的活動を適切に設定するとともに、互いの意見や考えについて解釈、批評、判断、表現するなどの言語活動を充実させる。
- (2) 「いのちの教育」「生徒指導」「特別支援教育」の充実を図り、学び合いを支える人間関係の醸成を追求する。
 - ア 互いのよさを見付け、認め合う場を意図的に設けることで、それぞれのよさが発揮できる温かい学年・学級集団を育てる。
 - イ 自己決定の場を大切にし、一人一人を認め励ます働きかけを積極的に行うことで自己有用感を高め、安心して教育活動に取り組める雰囲気醸成する。
 - ウ 特別な配慮を必要とする生徒に対するきめ細やかな支援を行うとともに、全ての生徒が互いを認め合い、共に学び合おうとする態度を育てる。
- (3) 生徒による自治的活動を推進し、自主的・実践的な態度の育成を追求する。
 - ア 学級活動では、話し合い活動を充実させることで、望ましい人間関係を形成し、自己を生かしてよりよい生活を築こうとする態度を育てる。
 - イ 生徒会・委員会活動では、自分たちで計画を立て役割を分担し、自主的・実践的に取り組めるように、活動に必要な時間を計画的に確保する。
 - ウ 学校行事では、異学年交流や体験的な活動を通して、よりよい学校生活を築き、集団への所属感や連帯感、公共の精神を養えるようにする。

4 地域の特色と生徒の実態

本校は氷見市街地にあり、校区はかつて商業活動の中心地として活気に満ちていた。しかし、近年は、市街地から周辺部への人口移動や少子高齢化に伴い、生徒数が減少している。

保護者の教育への関心は高く、学校に対して協力的で、PTA活動も活発である。

生徒は、生徒会活動や学校行事、部活動に積極的に取り組んでいる。学習面では、班やペアで自分の考えを伝えることはできるが、全体の場で自分の思いや考えを表現することが苦手と感じる生徒が多い。生活面では、自分の仕事に責任をもって取り組む生徒が多いが、自分に自信がもてない生徒も見られる。また、学習面、生活面で特別な支援を必要とする生徒も少なからぬため、自己決定の場を大切にし、生徒一人一人を認め励ます働きかけを積極的に行うことで、自己有用感を高めるとともに、生き生きと楽しく学校生活を過ごすことができるようにしたい。